


 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)


 No.53

## . . . 目 次 . . .

・報告 「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直し等に関する概況	1
・第17回日本生殖看護学会学術集会のご案内	3
・日本生殖看護学会第14回生殖看護実践セミナー	4
・第10回 関西地区勉強会のお知らせ	5
・第13回生殖看護実践セミナー開催報告	5
・勉強会の支援と助成	6
・これから行われる学術集会・研修会情報（2019年7月～10月）	7
・理事会報告	8
・事務局からのお知らせ	8
・編集後記	8



## 報 告

 「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」  
見直し等に関する概況

将来検討委員会 野澤美江子

昨年11月、中国からゲノム編集技術を使ってヒト受精卵の遺伝子を改変し、双子児が生まれたとのニュースが飛び込み、びっくりした会員の皆さんも多かったことと思います。現在、生殖看護に関わる看護師に求められるコンピテンシーの調査を進めている所ではありますが、現代社会が求める生殖医療がさらに複雑になってきそうです。そこで、今回は、「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直し等に関する情報をご紹介します。

令和元年5月11日（土）日本科学未来館で、「ヒト受精卵での研究 どう考えますか？」というトークセッションが行われました。講師は、総合科学技術・イノベーション会議・生命倫理専門調査会「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直しに等に係るタスク・フォースのメンバーである加藤和人先生（WHOのヒトへのゲノム編集に関わる専門委員会メンバー）と石原理先生（国際生殖補助医療監視委員会ボードメンバー）でした。「生命の萌芽」であるヒト受精卵を尊重されるべき存在として考え、研究目的で新たな使用の可能性が出てくるごとに、その使用を認めるべきか政府が慎重に検討しルール整備を行ってきました。今回は、ゲノム編集技術の登場によって新たな研究の可能性が生じ、基礎的研究に限定した上で研究可能な対象を広げるかどうかの検討が進められていることが報告されました。報道関係者の参加も多く、関心の高さが伺えました。

総合科学技術・イノベーション会議・生命倫理専門調査会は、クローン技術の登場に合わせ平成16年7月に「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」をまとめました。その後、ゲノム編集技術等の最先端技術のヒト胚への応用にあたっては生命倫理の遵守と研究の推進の両立が可能となるように基本的考え方の見直しも含めた検討を行いました。そして、平成29年5月にまとめた「今後の検討方針」について集中的に検討を行う「『ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方』見直し等に係るタスク・フォース」を設置しました。そして、平成30年3月「『ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方』見直しに係る報告（第一次）」において、○生殖補

助医療研究を目的とした余剰胚へのゲノム編集技術等を用いる基礎的研究の指針策定を行う、○研究及び医療提供として行われる臨床利用は、現時点で容認できない、○生殖補助医療以外を目的とするヒト受精胚へのゲノム編集技術及び核置換技術を用いた研究は、引き続き検討が必要との見解を示しました。その後、さらに検討を進め、○遺伝性・先天性疾患研究目的での余剰胚へのゲノム編集技術の利用、○研究用新規作成胚へのゲノム編集技術の利用、○核置換技術を用いた研究、○審査体制等について検討し、現時点までの検討結果を第二次報告としてまとめました。第二次報告の概要は下記の通りです（図参照）。

(1) **基本的視点**：○ゲノム編集技術等の新規技術を用いたヒト受精胚を用いた研究について一律に許容性を判断することは困難であるため、個別の研究内容に即した判断が必要である。○ヒト胚の取扱いに関する基本原則自体は維持しつつ、基礎的研究として容認される範囲の外縁を示し、個別の研究計画が適切に審議されるための要件や研究の透明性を確保する枠組みを提示する。○研究又は医療提供として行われる臨床利用におけるゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚のヒト又は動物への胎内移植は容認できない。加えて、臨床利用に対する適切な制度的枠組みの検討を関係府省に依頼する。○本件全般について国民的議論及び国際的な検討との協調が重要である。

(2) **個別論点**：①「余剰胚を用いた遺伝性・先天性疾患研究」：一定の条件を個別審査で確認した上で容認する。②「研究用新規作成胚」の作成を伴う研究：生殖補助医療研究目的では、ゲノム編集技術を用いることで必要となる条件を指針に追加して容認する。遺伝性・先天性疾患研究目的では、個別の研究計画に対して適切な審査を行うことで容認しうるか引き続き検討する。③「核置換技術を用いた研究」：ミトコンドリア病患者の余剰胚から除いた核をドナー卵子又は受精胚に移植するヒト胚核置換胚を用いる基礎的研究について容認する。一方、患者の卵子から除いた核をドナー卵に移植する卵子間核置換を用いた研究は、引き続き検討する。なお、ヒト胚核置換胚の研究容認に当たっては、特定胚指針の改正が必要となる。④「審査体制等」：本文部科学省及び厚生労働省において速やかに指針を整備し、個別の研究計画について適切に容認可否を判断できる厳格な審査の仕組みを構築するとともに、生命倫理専門調査会で審査等の手続きについて検討する。

本報告では科学的合理性や社会的妥当性という言葉も散見され、技術の進歩に伴い医療専門職として今後も動向を慎重に見ていく必要があると思います。

図. 「第一次報告」及びそれ以降の専門調査会／タスク・フォースにおける検討の全体的整理

検討対象	基礎的研究 †		臨床利用 ‡ (研究・医療)
	余剰胚	新規胚	
ゲノム編集技術等（生殖補助医療研究目的）	・ 第一次報告に基づき、平成31年4月にゲノム編集指針を策定	・ 個別計画の審査を前提として、容認	・ 人又は動物への胎内移植は現時点において容認できない（「一次報告書」に引き続き確認） ・ 法的規制も含めた制度的枠組みを今後検討（新たに提示）  <b>基本的視点</b>
ゲノム編集技術等（遺伝性・先天性疾患研究目的）	・ 個別計画の審査を前提として、容認 <b>個別論点①</b>	・ 容認の可否を引き続き検討 <b>個別論点②</b>	
核置換技術	・ ヒト胚核置換胚については、個別計画の審査を前提として、容認	・ 卵子間核置換胚については、容認の可否を引き続き検討 <b>個別論点③</b>	

† 基礎的研究：ヒトや動物に、ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚を移植しない（個体産生につながらない）研究をいう。

‡ 臨床利用：ヒトや動物に、ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚を移植する（個体産生につながる可能性が有る）利用をいう。

#### 参考資料

「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」見直し等に係るタスク・フォース報告書（第二次報告）

[https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/hitohai\\_hokoku.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/hitohai_hokoku.pdf) (2019.5.20)

ヒト受精胚へのゲノム編集技術等を用いる研究に関する合同会議（第1回）資料

<https://www.mhlw.go.jp/content/11908000/000361095.pdf> (2019.5.20)

## 第17回日本生殖看護学会学術集会のご案内

テーマ：躍進する生殖看護－不妊治療からその先の妊娠・出産・育児へ－

日時 2019年9月15日（日）9:30～17:00

場所 聖路加国際大学 アリス・C・セントジョンメモリアルホール他  
（〒104-0044 東京都中央区明石町10-1）

この度、第17回日本生殖看護学会を開催させていただくことになりました。不妊治療を受けて妊娠したカップルが、子どもとのゆるぎない親子関係を構築しながら親役割を獲得し、協働して楽しく子育てをしていくためには、不妊治療中だけでなく、そのあとに続く妊娠・出産・育児期への継続した支援が必要だと思います。そのため、メインテーマは、「躍進する生殖看護－不妊治療からその先の妊娠・出産・育児へ」としました。参加者の皆様と多角的な視点から考える機会にしたいと思います。7年ぶりの関東開催です。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

（学術集会長 坂上 明子）

### ●学術集会プログラム（予告なく変更となる場合がございます）

9:00～	開場・受付開始
9:30～	開会 会長講演
10:00～	一般演題（口頭発表）
11:30～	教育講演「超高齢出産・育児を多職種で支える」 森 恵美氏（千葉大学大学院看護学研究科 教授）
12:40～	ランチョンセミナー（共催：ウィメンズヘルス・ジャパン株式会社） 「生殖医療の最前線：こころとからだに寄りそう不育症治療とケア」 尾崎 康彦氏（名古屋市立大学大学院医学研究科 高度医療教育研究センター 教授） 「生殖医療の最前線：子宮移植の現在と未来」 木須 伊織氏（慶應義塾大学医学部 特任助教）
13:50～	総会
14:30～	一般演題（ポスター発表）
15:10～	シンポジウム「不妊治療後の妊娠・出産・育児を支える」 白井 千晶氏（静岡大学大学院人文社会科学研究所 教授） 長瀬 彩子氏（聖路加国際病院 相談・支援センター ソーシャルワーカー） 勝又 由美氏（東邦大学医療センター佐倉病院 不妊症看護認定看護師） 福井 良子氏（NPO法人Fine公認ピア・カウンセラー）
17:00	優秀賞表彰 閉会

### ●一般演題お申込み

一般演題の申し込みは5月7日（火）をもって締め切りました。お申し込みをありがとうございました。

### ●学術集会参加費

事前登録：会員5,000円 非会員6,000円 学生（大学院生・研修生は除く）1,000円

※事前登録申込み締切日：2019年8月9日（金）

当日参加：会員6,000円 非会員7,000円 学生（大学院生・研修生は除く）1,000円

### ●参加登録に関するお願い

下記の学術集会、事前参加申込のURLにアクセスし、必要事項を入力の上、送信をしてください。事前参加申込をされた方には、8月後半にプログラム・講演集を郵送いたします。

\*参加費のお振込みだけでは、プログラム・講演集をお送りできませんので、必ず学術集会のホームページからご登録をお願いします。

\*学術集会事務局が入金を確認次第、申込完了となります。申込フォームの送信のみでは申込完了とはなりませんのでご注意ください。

## 参加費振り込みに関する重要なお知らせ

2月に学術集会のチラシとともに会員の皆様にお送りした払込取扱票はご利用いただくことができま  
せん。ご迷惑をおかけした皆様に深くお詫び申し上げます。大変ご面倒をおかけいたしますが、下記、  
振込先に直接お振込みをお願いします。銀行窓口で現金でお手続きいただくと手数料が高額になります。  
できるだけATMやネットバンキングをご利用ください。詳しくは学術集会ホームページをご覧ください。

・ゆうちょ銀行からのお振込みの場合

【口座記号・番号】10120-79189941 【加入者名】第17回日本生殖看護学会学術集会

・ゆうちょ銀行以外の金融機関ご利用の場合

【銀行名】ゆうちょ銀行 【店名】〇一八（読み ゼロイチハチ）【店番】018

【預金種目】普通預金 【口座番号】7918994

口座名義：第17回日本生殖看護学会学術集会

（ダイジュウナナカイ ニホンセイシヨクカンゴガツカイガクジュツシュウカイ）

### ●ランチョンセミナーのご案内

ランチョンセミナーの参加券は、当日9時より先着順に、学術集会参加申込が済んでいる方へ配布いたします。ランチョンセミナーの参加券には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

### ●お問い合わせ先

第17回日本生殖看護学会学術集会事務局

武蔵野大学看護学部 母性看護学領域内 〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

事務局 E-mail アドレス：office@jsfn17.com 学術集会 HP アドレス：https://www.jsfn17.jp

## 日本生殖看護学会第14回生殖看護実践セミナーのお知らせ

【日時】2019年9月14日（土）14：00～17：00（受付開始 13：30）

【場所】東京工科大学（JR 蒲田駅西口から徒歩2分）

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22

【テーマ】「不妊看護に求められるヘルスリテラシー」

ー対象のヘルスリテラシーを読み解き、より良い看護を実現するー

心身の健康格差はヘルスリテラシーによるところが大きいと言われています。不妊症の場合も同じです。ヘルスリテラシーの考えを理解して、ケアへつなげるポイントを学ぶ機会にしましょう。

【内容】講師：アルテミスウイメンズホスピタル 太田寛先生

事例検討、ディスカッション

【参加費】会員 無料 非会員 1,000円

【申し込み方法】

お名前、ご所属、連絡先、会員番号を明記の上 Mail 又は Fax でお申込みください。

日本生殖看護学会教育推進委員会担当：柴田文子（松蔭大学看護学部）

青柳優子（順天堂大学医療看護学部）

〈Mail の場合〉 Mail：jsfn.edu@gmail.com

〈Fax の場合〉 Fax：046-247-4234 学会ホームページよりダウンロードしてください。

【申し込み締め切り】2019年9月6日（金）

## 第10回 関西地区勉強会のお知らせ

関西地区勉強会を下記要領で開催いたします。会員の皆様には多数のご参加をお待ち申し上げております。お知り合いの方にもご案内いただきますようお願い申し上げます。

【日時】：2019年10月20日（日）13:30～17:00（13:10開場）

【会場】：大阪府看護協会ナーシングアート大阪 4階研修室H

【講師】：坂本岳之先生 精神科看護師

【テーマ】：不妊症看護実践に活かす認知行動療法 - “こころ”と行動の仕組みを理解して看護を考えよう-

【参加費】：会員1000円（非会員1500円）

【定員】：先着50名

【申し込み方法】：QRコードまたはURLより申し込みフォームでお申し込みください。

<https://forms.gle/gZj5Zt1PHxRuhAa7A>

【申込期限】：2019年9月30日（月）

ご不明な点は担当までお問い合わせください。

【担当】：山本和江 E-mail: kansaitikubenkyoukai@gmail.com



## 第13回生殖看護実践セミナー開催報告

報告：教育推進委員会

【テーマ】：不妊治療と心のケアにおける多職種連携

【日時】：平成31年3月23日（土）14時30分～17時

【場所】：聖路加国際大学 アリス・セントジョンメモリアルホール

【講師】：平山 史朗先生（生殖心理カウンセラー／臨床心理士、日本生殖心理学会副理事長、東京HARTクリニック）

二宮 美香先生（精神看護専門看護師、日本医科大学武蔵小杉病院）

【参加者】：97名（会員70名、非会員27名）

【セミナーの内容】

### 1. 講演・ディスカッション

平山先生より、臨床心理士および新たに始まった国家資格である公認心理師の位置づけや役割、生殖医療における心理支援についてガイドラインをご説明いただいた。また、実際に関わりのあった精神疾患合併の事例を通して心理ケアのご紹介と多職種連携への問題提起がなされた。

二宮先生より、リエゾン看護師としての位置づけや勤務施設における役割と活動についてご説明があった。また、精神疾患合併妊婦への関わりの実際や、大人のASD（自閉症スペクトラム障害）の妊産婦および不妊治療と関連する男女の性格的特性についてご講演いただいた。

全体ディスカッション・質疑応答では、心理職やリエゾン看護師として不妊女性への心のケアで大事にされていることや、経験や背景が異なる多職種への教育のあり方、妊娠だけではなく不妊治療における多職種連携の目的のあり方、連携・協働してケアを行うための心理職と医療職のチームで活用できるガイドライン作成の必要性等についてディスカッションされた。

### 2. アンケートによる評価（アンケート回収数：77部、回収率：79.4%）

講演はどちらも90%以上の参加者が「とても役立った」「役立った」と回答した。

心理の専門家の理解を深めたとの意見と共に、心のケアについて「答えは患者自身が持っている」「それを引き出すのが役割」など患者中心のケアの姿勢を再確認し、「精神疾患合併の患者が多いので、とても参考になった」や「リエゾン看護師との今後の協働を考えるきっかけとなった」などの意見が多かった。一方で、心理の専門家がない施設や、配属があっても連携していないなど、職種間の連携の難しさについての意見も見られた。具体的な心理ケアや連携の実際について、もっと知りたいという希望が多かった。

## 各地区で開催する勉強会の支援

教育推進委員会では、会員が主催する各地区の勉強会を支援したいと考えております。初めて企画を担当される方、あるいは自分たちの地区でもぜひ勉強会を開催したいけれどどうしたらよいかわからない…等、お気軽にご相談ください。勉強会を企画されている代表者の方は、開催日時、開催場所、テーマあるいは内容、連絡先（住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス）等を下記の連絡先までご連絡下さい。また、日本生殖看護学会ホームページには、勉強会の企画に関する資料が掲載されています。日本生殖看護学会のニュースレターやホームページにも広報を掲載することが出来ます。資料を参考になさってください。

## 勉強会等の運営費の助成

生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、勉強会等の運営費を助成します。助成金は企画1件につき1万円、当該年度の助成は3件までです。日本生殖看護学会ホームページに、応募資格や応募方法等が掲載されていますので、ご覧ください。また、助成に関してご意見等がありましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

### 【勉強会に関する連絡先】

日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事 柴田文子  
〒243-0124 神奈川県厚木市森の里若宮9-1 森の里学園研究施設内 松蔭大学看護学部  
TEL:046-247-1511 (代表) FAX:046-247-4234 E-mail: jsfn.edu@gmail.com

## 日本生殖看護学勉強会等助成要項

### 【助成の趣旨】

日本生殖看護学会員による生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、勉強会等運営費を助成し、日本生殖看護学会員サービスに寄与し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

### 【助成の対象】

会員個人または共同で開催する勉強会等企画者を対象とする。

### 【応募資格】

1. 勉強会企画代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同で企画する場合は、代表者以外の共同企画者も勉強会開催時に本学会会員である者。
3. 勉強会予算案を日本生殖看護学会員と非会員の参加費に格差をつけ、作成していること。

### 【助成金】

助成金は勉強会の企画1件につき1万円を限度とし、当該年度の助成は3件までとする。

### 【助成期間】

平成30年9月1日～令和元年8月31日までの約1年間とする。

### 【応募方法】

1. 学会所定の勉強会助成申請書に必要事項を記載し、1部を学会教育推進委員会宛にメールで申請する。  
メールの件名は「日本生殖看護学会勉強会助成申請」とする。
2. 応募受付期間：平成30年9月1日～令和元年6月30日、ただし、勉強会開催の2か月前までに応募する。
3. 申込先：日本生殖看護学会教育推進委員会 担当理事 柴田文子  
〒243-0124 神奈川県厚木市森の里若宮9-1 森の里学園研究施設内 松蔭大学看護学部  
TEL:046-247-1511 (代表) FAX:046-247-4234 E-mail: jsfn.edu@gmail.com

### 【選考及び助成の決定】

教育推進委員会において選考の上、応募から1か月以内に、応募者にメールで通知する。

### 【助成金の使途】

勉強会の企画・運営に必要な講師料、物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

### 【勉強会の成果の報告】

1. 助成を受けた者は、勉強会終了後、参加人数および成果、収支決算を教育推進委員会にメールで報告する。
2. 勉強会の内容および成果は、ニュースレターに掲載する。

## これから行われる学術集会・研修会情報（2019年7月～10月）

月	日	学会・研修会名	会 場	学会 HP / 運営事務局
8月	1日 ） 2日	日本受精着床学会（第37回） 「Reproductive Diversity: 生殖の 多様性を探求する」	京王プラザホテル （東京都新宿区）	<a href="http://jsfi37.umin.jp/welcome.html">http://jsfi37.umin.jp/welcome.html</a> 【事務局】 株式会社コンベックス内 〒106-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 TEL：03-5425-1603 FAX：03-5425-1605 E-mail：jsfi37@convex.co.jp
	23日 ） 25日	日本思春期学会（第38回） 「生殖機能温存」	大田区産業プラザ PiO（東京都大田区）	<a href="http://www.pw-co.jp/jsa2019/overview.html">http://www.pw-co.jp/jsa2019/overview.html</a> 【運営事務局】 株式会社プランニングウィル内 〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル6F TEL：03-6801-8084 FAX：03-6801-8094 E-mail：38jsa2019@pw-co.jp
9月	15日	日本生殖看護学会（第17回） 「躍進する生殖看護－不妊治療から その先の妊娠・出産・育児へ－」	聖路加国際大学 本館 アリス・C・ セントジョン メモリアルホール他 （東京都中央区）	<a href="https://www.jsfn17.jp/">https://www.jsfn17.jp/</a> 【事務局】 武蔵野大学看護学部内 〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20 TEL & FAX：042（468）3336 E-mail：office@jsfn17.com
	28日 ） 29日	日本遺伝看護学会（第18回） 「あなたの医療をつなげる ささえる 遺伝看護」	東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂 他 （東京都文京区）	<a href="http://idenkango.com/JSGNconference18th20190402.pdf">http://idenkango.com/JSGNconference18th20190402.pdf</a> 【問い合わせ先】 〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学医学部附属病院 臨床試験管理センター内 第18回日本遺伝看護学会学術大会事務局 Email：geneticnursing2019@gmail.com
10月	15日 ） 16日	日本 IVF 学会（第22回） 「Seek for quality ART ～上質な ART の探求～」	JR 九州ホール及び 会議室（JR 博多 シティ 9階・10階） （福岡県福岡市）	<a href="https://22th.ivf-et.net/">https://22th.ivf-et.net/</a> 【第22回日本 IVF 学会学術集会事務局】 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-1-19 蔵本ウィメンズクリニック TEL：092-482-5558 FAX：092-482-1415
	19日 ） 20日	日本母性衛生学会（第60回） 「多職種で支える母性の確立と 母と子の絆」	ヒルトン東京ベイ （千葉県浦安市）	<a href="http://bosei60.umin.jp/index.html">http://bosei60.umin.jp/index.html</a> 【運営事務局】 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町 パークサイドビル402 （株）MA コンベンションコンサルティング内 TEL：03-5275-1191（代表） FAX：03-5275-1192 E-mail：jsmh60@macc.jp

生殖看護への想いが込められた研究を「研究論文」という形にしてみませんか？

生殖看護学会誌への投稿をお待ちしております。

第17巻第1号学会誌の投稿締め切りは、2019年11月末を予定しています。

\* 投稿の詳細は、学会誌やホームページ「論文投稿規定」をご確認ください。

## 第17回日本生殖看護学会学術集会参加費お振込みに関するお願い

2月に会員の皆様にお送りした払込取扱票はご利用いただくことができません。大変申し訳ございません。振込方法については、本ニュースレターの4ページ、または学術集会ホームページの事前参加申込のページをご覧ください。

## 理事会報告

### 第1回臨時理事会

日時：2019（平成31）年2月5日（火）  
場所：書面による。

#### 【審議事項】

1. 入会審査：2名の入会を承認。

### 第2回理事会

#### 【報告事項】

日時：2019（平成31）年3月8日（金）18:00～19:50  
場所：聖路加国際大学 本館5階505室  
出席者：上澤、野澤、森明、坂上（学術集会長兼務）、  
崎山、實崎、柴田、中村希、清水、村本、  
中村真（書記）（敬称略）

#### 【報告事項】

1. 第17回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況。
2. 広報委員会：広報委員会活動計画およびニュースレター発行計画案。
3. 教育推進委員会：第13回生殖看護実践セミナー準備状況。
4. 編集委員会：学会誌第16号発刊に向けた進捗状況。
5. 将来検討委員会、健やか親子WG：研究助成募集状況、今年度の活動計画。
6. 総務：会員管理状況。

7. 看保連対応ワーキング：2020年度看護連の基本方針、重点要望。
8. 科研「現代社会が求める生殖看護に関わる看護師のコンピテンシーモデルの創生」の進捗状況。

#### 【審議事項】

1. 入会審査：1名の入会を承認。
2. 教育推進委員会：第13回生殖看護実践セミナーのテーマと会場の検討。
3. 編集委員会：学会誌第15巻印刷における支払い請求の検討。
4. 第18回日本生殖看護学会学術集会長の推薦について。
5. 2020年4月以降の事務局体制の検討。
6. 副理事より本学会に、科研：コンピテンシーモデルの創生の調査協力依頼。

### 第2回臨時理事会

日時：2019（平成31）年4月15日（月）  
場所：書面による。

#### 【審議事項】

1. 入会審査：7名の入会を承認。

## 事務局からのお知らせ

1. 第17回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailもしくはFaxで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。今年度の会期は2018年9月1日～2019年8月31日です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めをお願い申し上げます。また、退会を希望される場合は、当該年度まで、年会費を完納していただく必要がありますので、ご了承ください。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。学会ホームページから住所・勤務先 変更届をダウンロードできます。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数364名（平成31年4月15日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

### 日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学内

TEL & FAX 03-5550-2293 E-mail : jsin@slcn.ac.jp

ホームページ <http://jsin.umin.jp>

口座番号：00170-2-333414

加入者名：日本生殖看護学会

### ●次号の原稿締切日

ニュースレター第54号の原稿締切日は、2019年9月24日（火）を予定しています。会員の皆さまにお知らせしたい情報などがございましたら、広報委員会（jsfn.koho@gmail.com）までご連絡ください。

### ◆編集後記

今年は入梅前から真夏日となる地域があり、例年以上の蒸し暑さとなっております。屋外に出かける際はもちろんのこと、屋内でもしっかりと熱中症対策を心がけましょう。9月には東京での学術集会で皆様にお会いできることを楽しみにしております。